



令和2年度 湯浅町立湯浅小学校

# 学校評価アンケート集計結果

学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。

日ごとに暖かく感じることも増え、木々の梢を揺らす風に春を感じられるようになってきました。保護者の皆様には、本校の教育活動並びにPTA活動に対して、ご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染防止のために学校行事や時程の変更等を行いました。児童や保護者の皆様には、多大なるご理解ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

さて、このたびご協力いただいた学校評価アンケートについて、295家庭(全体325家庭)、約9割の皆様よりご回答をいただきました。ありがとうございました。集計を行いましたのでご報告させていただきます。紙面の都合上、特に顕著な部分を中心に掲載させていただきます。(詳しくは、学校HPをご覧ください。)



## I. 学校経営・教育活動に関するアンケートについて(全19項目)

『①とてもそう思う』『②まあそう思う』の合計の割合が85%を超えた項目は、

『①学校は学校の教育方針や取組を家庭に伝えている(PTA総会資料・面談・たより・HP等)』  
94.5%(昨年度89.9%)

『③子供は楽しく学校に通っている』93.1%(昨年度95.9%)

『⑩学校は必要な感染症対策を講じている』92.1%(今年度新設項目)

『②学校は学校での子供の様子を伝えている(面談・たより・HP等)』91.4%(昨年度89.5%)

『⑦学校行事(授業参観など)は、保護者にとって参加しやすくなっている。』88.7%(昨年度85.5%)の5項目でした。



『①学校は学校の教育方針や取り組みを家庭に伝えている』や『②学校は学校での子供の様子を伝えている』が多い点については、学級通信や学年だより等で日々の子供たちの様子についてお伝えし、担任からも必要に応じて連絡を取らせていただいたり、例年とは形態を変更して授業参観を実施したりしたことにより、このような評価になっているのではと考えると、非常に有り難く思います。しかしながら、『③子供は楽しく学校に通っている』に関しましては、この結果に満足することなく、やはりすべての子供たちが「学校に通うことが楽しい」と思える学校づくりに今後も努めていかなければならないと考えております。

また、「①とてもそう思う」「②まあそう思う」の合計割合が、昨年度より増えたのは19項目のうち16項目あります。特に、

『⑩学校は、子供たちの安全対策を図っている』84.6%（昨年度76.2%）

『⑭学校には困っていることなどを気軽に相談できる』82.9%（昨年度76.2%）

『⑧学校は読書の取り組みを積極的に行っている。』82.5%（昨年度78.2%）

『⑱学校は保護者・地域の願いに応えている』72.2%（昨年度65.4%）

『⑫学校はいじめのない学校作りに取り組んでいる』69.8%（昨年度65.1%）

の5項目に関しましては、昨年度より4%以上高い評価をいただいております。

しかしながら、これらに関しましても、より丁寧な取組を推し進め、皆様方や地域の方々とともに子供たちのよりよい成長の場としての学校づくりに努めていく所存です。特に『⑫学校はいじめのない学校作りに取り組んでいる』に関しましては、皆様方のご支援ご理解ご協力に感謝いたすとともに、学校といたしましても、いじめ防止基本方針に則り、「チーム学校」としてきめ細かな対応に努めてまいります。

また、「①とてもそう思う」「②まあそう思う」の合計割合が、昨年度より減ったのは、19項目のうち3項目あります。

『②子供は楽しく学校に通っている』93.1%（昨年度95.9%）

『⑤学校は子供たちにわかりやすい工夫した授業を行っている』79.5%（昨年度90.9%）

『⑨通知簿は子供の力や学習状況がよくわかり適切である』83.5%（昨年度84.3%）

です。特に、『⑤学校は子供たちにわかりやすい工夫した授業を行っている』に関しましては、3月からの臨時休業・分散登校、授業中におけるグループ学習等の制限下のなか、一時授業形態を変えたり、教科書に準拠した問題集を用いたりしながら工夫してまいりましたが、保護者の皆様方にご安心いただくまでには至らなかった結果と受け止めております。また、「判断できない」とお答えの方が昨年度より8.3%増えていることから、授業に関する広報不足も一因だと考えております。

来年度は一人一台のタブレットが導入されます。一人一台タブレットを持つ意味は、子供たちにとって、えてして今まで娯楽の道具であったコンピュータを学習の道具として活用できるようにすることだと考えております。学習に対する興味関心を高める道具として、AIドリルやデジタル教科書へのアクセス手段として、オンライン授業に参加する場として、また、情報共有の場や連絡手段としても活用が可能であるタブレット。教職員ともども戸惑うことが多々あるかと思いますが、まずは使い方から開始し、学校教育におけるデジタル化を進めていければと考えているところです。

「②あまりそう思わない」「④全くそう思わない」の合計割合が多かったのは、

『⑦子供は学校の授業がわかりやすく楽しいと言っている』22.0%（昨年度24.1%）

『⑮子供たちは、あいさつがよくできている』22.0%（昨年度23.7%）

『⑨通知簿は子供の力や学習状況がよくわかり適切である』12.7%（昨年度10.9%）

でした。

『⑦子供は学校の授業がわかりやすく楽しいと言っている』に関しましては、今まで行ってきた授業に加え、「指導の個別化」（特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材などの柔軟な提供・設定を

行う」と「学習の個性化」（総合的な学習の時間等を活用し、子供の興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会をつくる）の視点を取り入れながら、授業に臨んでいきたいと考えています。また、放課後等の補充学習の時間の充実を図っていききたいと思います。

『⑨通知簿は子供の力や学習状況がよくわかり適切である』12.7%（昨年度10.9%）に関しましては、「通知簿の項目が少し抽象的でわかりにくい。」というお声をいただいております。面談時などで具体的にご説明できるよう取り組んでいきたいと思っています。

『⑩子供たちは、あいさつがよくできている』に関しましては、

○挨拶や決まり事をきちんとするようになった。

○挨拶を大きい声でできている。元気にお礼の言葉も伝えられている。

○授業参観や面談等で学校訪問したとき、知らない保護者にも積極的に挨拶をしてくれます。素晴らしいと思います。

○参観などで学校を訪れると、あいさつしてくれる子供さんが何人もいて学校の明るい雰囲気がうれしいです。

○あいさつしっかりしてくれる。

というご意見がある一方、

○もうちょっと挨拶をきちんとできるようになってほしい。

○挨拶等、あたりまえの言葉が少し少ないと思います。

○「知らない人だから」と時代的には理解できるが、あいさつをしても無視する子が多い。（その一方で自発的に元気よく知らない大人にしてくれる児童もいる。）

○不審者情報もあつたりするので仕方ないと思いますが、朝通学中の子供たちに挨拶してもほとんど帰ってこない。ちょっと寂しいです。

というご意見もいただいております。

あいさつにつきましては、児童会の取組や始業式・終業式での挨拶をする意義等のお話で、全体的にあいさつに対する意識は高くなってきているように思います。地域の皆さんからも、町中で「元気にあいさつしてもらってうれしかったよ。」というお言葉をいただくこともあります。私も毎日お子さんたちにあいさつしていますが、その子その子によって反応は様々。声の大きさもいろいろで、会釈してくれる子や手を上げてくれる子等、ジェスチャーも様々です。中には友達とのおしゃべりに夢中であいさつが帰ってこないときもあります。また同じ子供さんであっても、日によって表情が違うこともあります。

あいさつは、周りの人といい関係を築いていく大切なもの。ひいては自分自身の生活の楽しさにつながっていくもの。あいさつは、してもされても温かい気持ちになるという経験を小学校時代にたくさん味わってしてもらえたらと願っています。教職員一同、心がけてまいりますので、今後とも、温かいお声がけをよろしく願いいたします。

また、「コミュニケーション」や「普段の様子」という点でも、

○男女仲良く遊んでいるようなので安心しています。

○何事にも積極的に取り組めていていいと思います。男女垣根なく公園や図書館へ行ったり、工夫



して遊んでいるところもGOOD！

○友だちを思いやれたり、よく学校の話をしてくれるようになった。

○公園で遊ぶ様子を見たことがあります。次々に来る少人数グループが合流して、大人数になっていましたが、誰も嫌がることをせず皆でもめごともなく遊んでいました。してはいけないことをしている子にはきちんと注意して立派だなあと感心して見ていました。

という、ご意見がある一方、

○相手の立場に立って物事を考えられるようになって欲しい。

○友達が悪口など、言い合いとか止めたりできる子が増えればと思います。自分の子もそうなって欲しいです。

○道路上でのマナーについて。歩いているとき自動車がよけてくれると思っているのか、端に寄りたり止まったりしなさすぎる。自転車で右側を走る。横に並んで走る。

○登下校時等、車の往来があるにもかかわらず広がって歩いたり、道などでゆずってもらっても挨拶しないのは残念だと思います。車が止まってくれないのでなかなか渡れず、非常に危険な思いをしたこともあります。登下校の時間帯だけでも交通整理をお願いしたい。車が止まってくれるような看板を立てるなど警察にも協力してもらいたいです。

といった課題もいただいております。

子供同士のトラブルで不適切な言葉遣いをするということがあります。相手の立場にたって話をしたり、自分の気持ちをコントロールしたり等、様々な機会を通じて、コミュニケーション力が向上していくように、皆様とともに取り組んでまいりたいと思います。また、交通安全に関しましては、これからも警察と連携しながら取り組んでいく所存です。交通安全教室を実施したり、歩き方や自転車の乗り方等について機会あるごとに繰り返し指導したりしていきたいと思っています。

## Ⅱ. 教育活動に対しての保護者の皆様方に関するアンケートについて

7項目の質問のうち、「①できている」「②まあできている」の合計が多かったのは、

『⑧家庭においても必要な感染症対策を講じている』96.6%（今年度新設項目）

『②授業参観や公開授業は出席するように心がけている。』94.9%（昨年度96.8%）

『⑦子供とのコミュニケーションやふれあいができている』93.2%（昨年度94.0%）

でした。平素より何かとお忙しい中にもかかわらず、ご家庭におかれましても多大なるご協力を賜っていることに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。どうか今後ともよろしくお願い申し上げます。

## Ⅲ ご意見をいただいた事柄について

本当にたくさんのご意見をいただきました。すべて印刷し、職員一人一人が拝見いたしました。

個々のご意見につきましては、学校として全教職員で共有し、今後の学校教育に生かして参りたいと思います。また、温かい励ましのお言葉、本当にご協力ありがとうございました。どうかこれからも本校の子供たち一人一人がしっかりと成長できるように、保護者や地域の皆様方との連携を大切にして、取り組んでまいりたいと存じます。何卒よろしくようお願い申し上げます。